

## 問題基盤型学習 (PBL) —信頼される医療—

責任者・コーディネーター	問題基盤型学習部会長、共通教育センター教務委員長		
担当講座・学科(分野)	人間科学科 (哲学・文学・法学・体育学・心理学分野) 情報科学科 (数学分野)、物理学科、化学科、生物学科 外国語学科 (英語分野)、図書館、健康管理センター		
担当教員	小川学長 遠藤准教授、平林教授、廣瀬講師、小山講師、藤澤助教、江尻教授、飯田講師、佐藤(英)教授、小松講師、寒河江助教、小田助教、中島准教授、東尾講師、岩渕助教、吉田助教、松政教授、三枝講師、三上講師、Hobbs 准教授、工藤准教授、小野准教授、浅田助教、図書館司書		
対象学年	第1学年	期間	前期
区分	講義	時間数	21時間

### ■ 学習方針 (講義概要等)

本科目は、本学の初年次教育の一環として全学部の第1学年の学生を対象に、自分たちで問題を発見し、解決するための自学自習能力および共同作業能力を育成することを目的とする。そのため、まず本学の建学の精神と歴史、および、医療人としての心構えを学んだ後、全学生を3学部混成のグループに分け、少人数による問題基盤型の学習を行う。具体的には、ワークショップ (WS) を通じて問題発見・解決のための姿勢や手法を学び、成果を発表してもらう。

現代社会、特に医療の世界では、専門知識・技能に加え、共同作業に必要な協調性と責任感、自己学習能力、役割遂行能力、討議能力、発表能力がこれまで以上に求められ、そうした力の育成が大学教育に期待されている。従って、自分が将来期待されている能力を身につける格好の機会であるという意識を持って、積極的に問題基盤型学習に取り組んでもらいたい。

### ■ 一般目標 (GIO)

与えられたテーマについて自己学習した上で、グループ討議へ積極的に参加し、問題点を抽出して解決策を検討するために必要な基礎的能力を身につける。また、討議の成果をまとめ、わかりやすい形で発表し、考察を深めていく姿勢を養う。

### ■ 到達目標 (SBO)

1. KJ法を使用して問題点を抽出できる。
2. 図書館やインターネットを利用して必要な知識や情報を収集できる。
3. 調べた情報に根拠づけができる。
4. 自己学習能力を高めることができる。

5. グループで協力して成果をまとめることができる。
6. 効果的なプレゼンテーションができる。
7. プレゼンテーションに対する的確なディスカッションができる。

■ 講義日程

【(矢) 東 1-A、東研究棟 SGL 教室、大堀記念講堂】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/19	金	3	共通教育センター	責任者 コーディネーター 心理学分野教員 図書館司書	図書館実習説明 メンタルヘルスケア講義 (大堀記念講堂)
4/19	金	4		小川 彰 学長 担当教員全員	学長特別講義 (大堀記念講堂)
4/26	金	3	共通教育センター	担当教員全員	WS-1 オリエンテーション (大堀記念講堂) アイスブレイキング・ 役割分担 (東研究棟 SGL 教室)
4/26	金	4	共通教育センター	担当教員全員	WS-2 自己学習課題への取組み (東研究棟 SGL 教室)
5/10	金	3	共通教育センター	担当教員全員	WS-3 [自己学習課題提出] KJ法による問題点の抽出 (東研究棟 SGL 教室)
5/10	金	4	共通教育センター	担当教員全員	WS-4 二次元展開による問題点 の整理 (東研究棟 SGL 教室)
5/17	金	3	共通教育センター	担当教員全員	WS-5 発表準備 プロダクト検討 (東研究棟 SGL 教室)
5/17	金	4	共通教育センター	責任者 コーディネーター	WS-6 プレゼンテーションのため に (大堀記念講堂)

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
5/24	金	3	共通教育センター	責任者 コーディネーター	WS-7 発表準備 プロダクト作成 (大堀記念講堂、東研究棟 SGL 教室)
5/24	金	4	共通教育センター	責任者 コーディネーター	WS-8 発表準備 プロダクト作成 (東研究棟 SGL 教室)
5/31	金	3	共通教育センター	担当教員全員	WS-9 発表練習 プロダクト確認・提出 (東研究棟 SGL 教室)
5/31	金	4	共通教育センター 健康管理センター	学校医 心理学分野教員 責任者 コーディネーター	WS-10 メンタルヘルス講演会 (大堀記念講堂)
6/7	金	3	共通教育センター	担当教員全員	WS-11 発表会 [2 会場] (東 1-A 講義室、大堀記 念講堂)
6/7	金	4	共通教育センター	担当教員全員	WS-12 発表会 [2 会場] (東 1-A 講義室、大堀記 念講堂)

■ 教科書・参考書

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
	授業で配布する資料を使用する。			

■ 成績評価方法

成績は 100 点満点で評価し、その配分は、以下のとおりとする。

- 出席：50%
- 教員による評価（受講態度など）：50%

## ■ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	USB メモリ	62	レポート作成・提出用
講義	書画カメラ・DVD プレーヤーセット (エルモ、東芝、他)	1	講義資料の提示